

# 岩手県における知的財産活動の概要

平成29年3月  
特許庁

# 岩手県における知的財産活動の概要 目次

---

## I.岩手県の知的財産の現状

- 1.知的財産戦略
- 2.出願動向
  - (1)出願・登録状況
  - (2)地域団体商標の取得及び地理的表示保護制度の登録状況
3. 支援人材
  - (1)弁理士登録人数・知財総合支援窓口支援人数
4. 支援推進体制
5. 支援事業
  - (1)県による事業  
～コラム～
  - (2)国との連携事業

## II.岩手県の産業特性と知的財産活用事例

- 1.産業特性
- 2.県内企業による知的財産活用事例

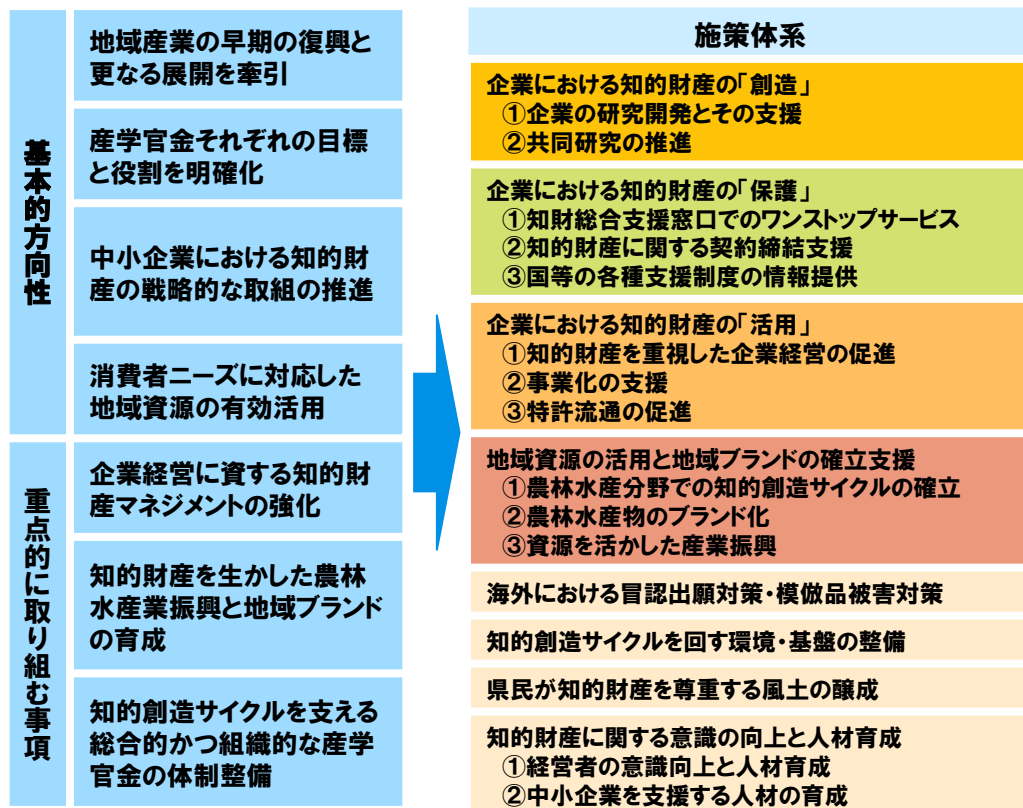
# I. 岩手県の知的財産の現状

## 1. 知的財産戦略

- 岩手県の知的財産に関する事業は、「いわて県民計画」の地域産業の競争力強化実現のための方策の一環として、「岩手県知的財産活用促進プラン」にもとづいて行われている。

### 「岩手県知的財産活用促進プラン(平成23年度-平成30年度)」

### 経済・産業政策の推進方針



### 「いわて県民計画」の 地域産業の競争力強化実現

### “希望郷いわて”の実現

#### 岩手県知的財産活用促進プラン (平成23年度-平成30年度)

保護

創造

活用

新・科学技術による地域  
イノベーション指針  
(平成23年度-平成30  
年度)

「農林水産技術立県い  
わて」技術開発基本方針  
(平成21年度-平成30  
年度)

### 岩手県知的財産 活用促進プラン

- 「東日本大震災からの早期の復興」と「既存産業の高度化や新産業の創出を推進する知的財産立県の実現」のため、4つの基本的方向性と3つの重点的に取り組むべき事項を示し、岩手県東日本大震災津波復興計画の計画期間に合わせた平成23年度から平成30年度の指針としてプランを策定したものの。

# 1. 岩手県の知的財産の現状

## 2. 出願動向 (1) 出願・登録状況

- 四法別の出願比率は、全国と比較して商標と実用新案の比率が高い。

特許等の出願及び登録の状況

| 四法       |    | 件数  | 出願順位(全国) |
|----------|----|-----|----------|
| 特許       | 出願 | 146 | 41位      |
|          | 登録 | 62  |          |
| 実用新案     | 出願 | 19  | 40位      |
|          | 登録 | 18  |          |
| 意匠       | 出願 | 24  | 42位      |
|          | 登録 | 19  |          |
| 商標       | 出願 | 329 | 38位      |
|          | 登録 | 236 |          |
| 国際出願(特許) |    | 11  | 44位      |
| 国際出願(商標) |    | 0   | -        |

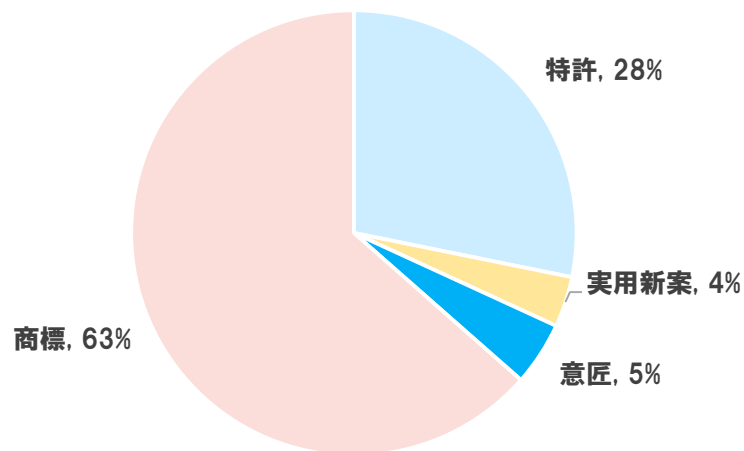
注:平成27年  
出典:「特許行政年次報告書2016年版」

発明者数および創作者数

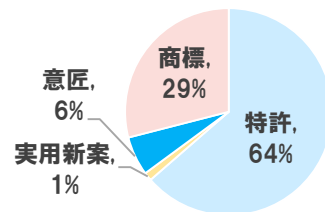
|          | 平成27年 | 全国順位 |
|----------|-------|------|
| 発明者数(特許) | 388   | 45位  |
| 創作者数(意匠) | 38    | 42位  |

注:日本人によるもの  
出典:「特許行政年次報告書2016年版」

四法別出願件数の比率(平成27年)



【参考】四法別出願件数の比率(全国)



出典:「特許行政年次報告書2016年版」

# 1. 岩手県の知的財産の現状

## 2. 出願動向 (2) 地域団体商標の取得及び地理的表示保護制度の登録状況

- ・ 地域団体商標の登録件数は5件で、出願件数は全国で40位である。
- ・ 登録種別では、「いわて牛」「いわて短角和牛」等の畜産物に関するものが多い。
- ・ 地理的表示保護制度の登録産品はない。

### 地域団体商標の取得状況

| 登録件数 | 出願件数 | 出願順位 (全国) |
|------|------|-----------|
| 5    | 10   | 40位       |

出典:特許庁ホームページ(平成29年1月現在)

### 地域団体商標一覧

|   | 登録名称    | 種別  |
|---|---------|-----|
| 1 | いわて牛    | 畜産物 |
| 2 | いわて短角和牛 | 畜産物 |
| 3 | 南部鉄器    | 工芸品 |
| 4 | 江刺りんご   | 農作物 |
| 5 | 真崎わかめ   | 水産物 |

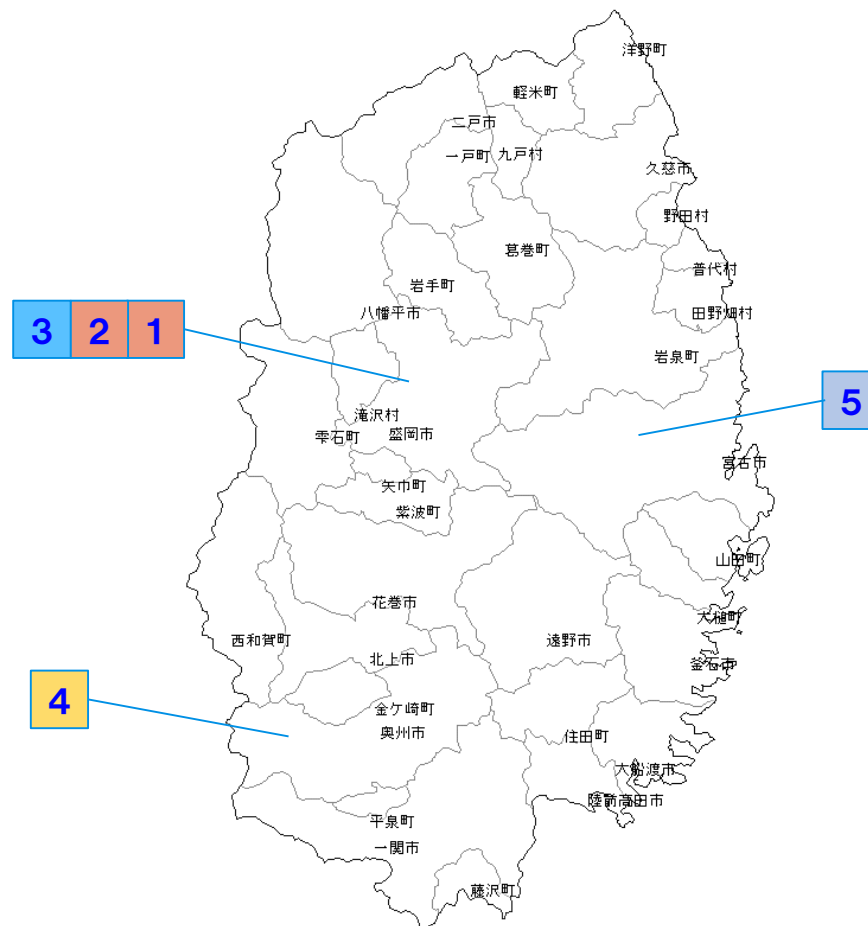
出典:特許庁ホームページ(平成29年1月現在)

### 地理的表示保護制度登録産品(平成28年12月現在)

| 登録名称 | 区分 |
|------|----|
| 該当なし |    |

出典:農林水産省ホームページ(平成28年12月現在)をもとに株式会社浜銀総合研究所にて作成

### 地域団体商標取得団体の分布MAP



出典:特許庁ホームページ(平成29年1月現在)をもとに株式会社浜銀総合研究所にて作成

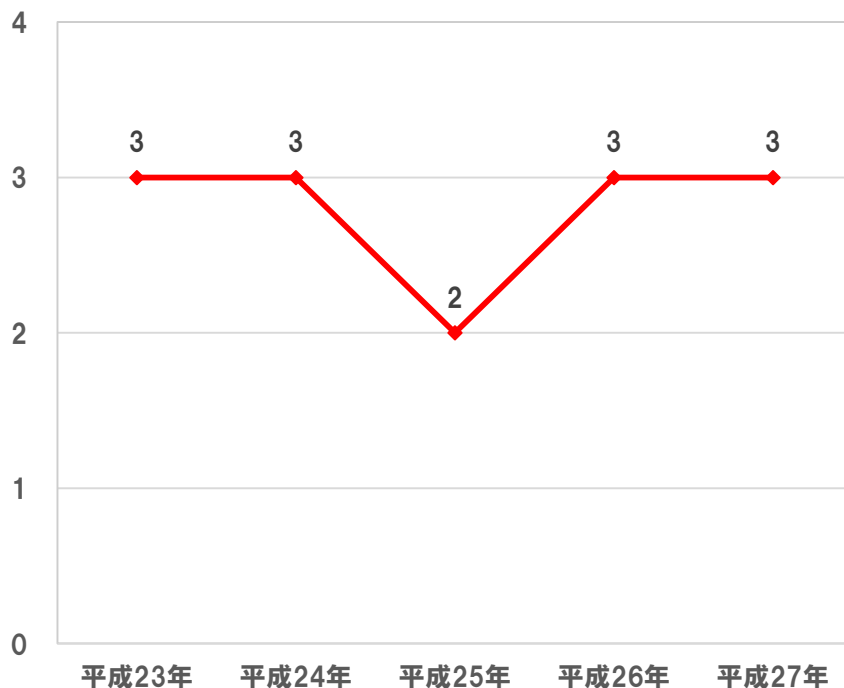
# I. 岩手県の知的財産の現状

## 3. 支援人材 (1) 弁理士登録人数・知財総合支援窓口支援人数

- 弁理士登録人数は、平成23年からほぼ横ばいの状態にあり、平成27年末時点で3人である。
- 知財総合支援窓口支援人数は9名であり、知的財産管理技能士は合計205名、全国第34位である。

弁理士登録人数の推移

(単位:人)



出典:「特許行政年次報告書2012年版～2016年版」

知財総合支援窓口支援人数

| 窓口担当者 | 配置弁理士 | 配置弁護士 | 合計  |
|-------|-------|-------|-----|
| 3 名   | 4 名   | 2 名   | 9 名 |

注:平成28年度  
出典: 特許庁普及支援課

知的財産管理技能士数

| 1級 | 2級  | 3級   | 合計   | 全国順位<br>(合計) |
|----|-----|------|------|--------------|
| 2名 | 58名 | 145名 | 205名 | 34位          |

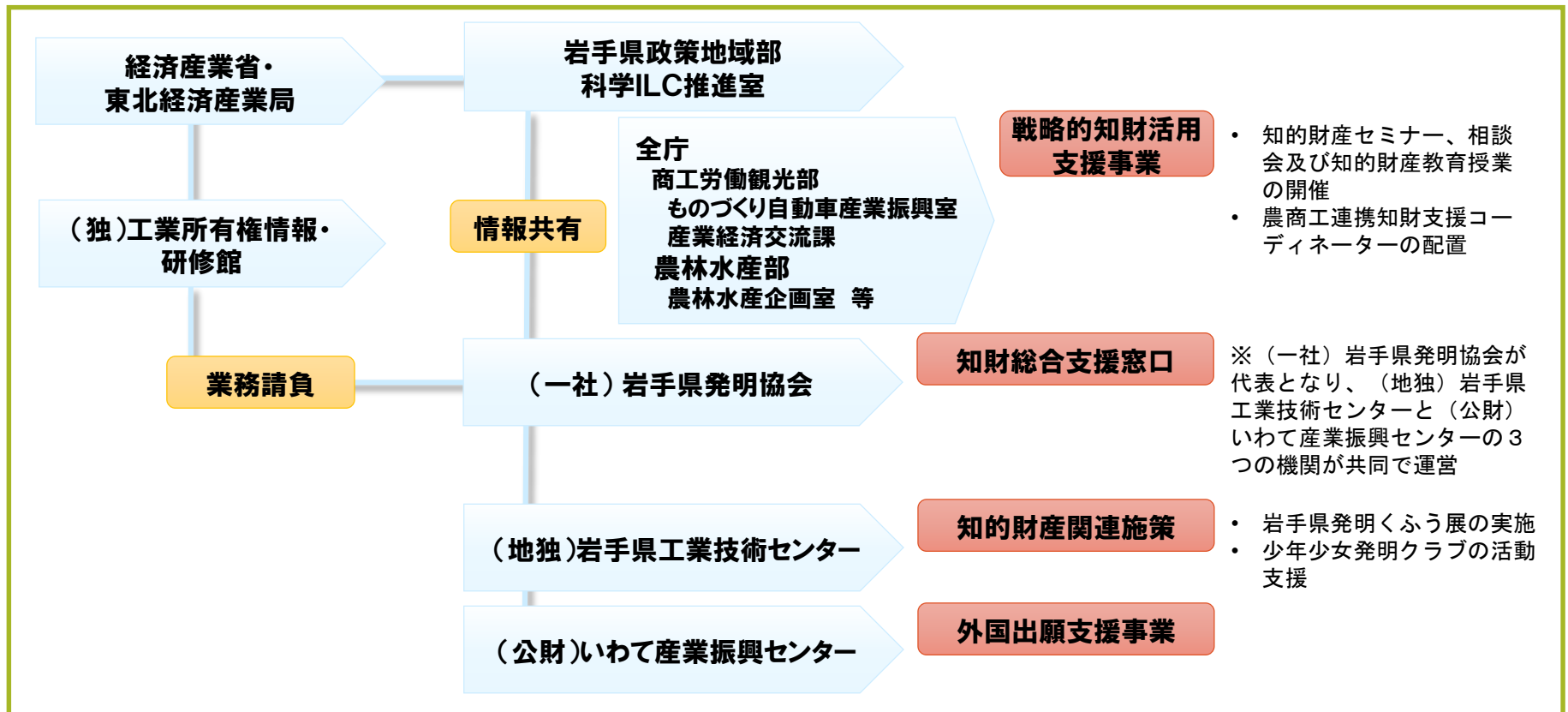
注:平成28年12月現在  
出典: 知的財産管理技能検定ホームページ

# I. 岩手県の知的財産の現状

## 4. 支援推進体制

- 岩手県の知的財産関連事業は、(一社)岩手県発明協会、(地独)岩手県工業技術センター、(公財)いわて産業振興センター及び岩手県が連携して実施している。

### 岩手県の知的財産事業の実施体制



出典: 岩手県へのヒアリング調査をもとに株式会社浜銀総合研究所にて作成

# I. 岩手県の知的財産の現状

## 5. 支援事業

- 岩手県では、知的財産に関する啓発や普及を目的とした知財セミナーや相談会、知財教育授業、発明くふう展を開催するとともに、知財総合支援窓口に「農商工連携知財コーディネーター」を配置している。

### 知的財産の事業

- 主な実施事業は以下の通り。

#### 1. 戦略的知財活用支援事業

県内企業等による知的財産の有効な活用を支援するため、知的財産セミナーや相談会を開催。知財総合支援窓口農商工連携知財支援コーディネーターを配置。知的財産を活用するものづくり人材の育成を図るため、知的財産教育授業を開催。

#### 2. 岩手県発明くふう展の開催

発明思想の高揚と科学技術の振興並びに地域産業の発展に寄与するため、一般県民及び児童生徒の優れたアイデア・発明考案品を募集し、作品展を開催。

### これまでの 主な支援事例

#### 1. 株式会社浅沼醤油店のオリジナル商品「エゴマ醤油」の商品化・権利化の支援

岩手県工業技術センターの協力のもと、大豆や小麦を使用しないエゴマの搾り粕を原料とした「エゴマ醤油」の開発・商品化に成功。知財総合支援窓口の支援を受け、効率的に調味料とその製法に関する特許権を取得し、同社の主力商品とともに提案型企業へと成長している。

#### 2. 株式会社アイカムスラボの世界初ペン型電動ピペットの開発支援

自社のコア技術であるマイクロアクチュエータをベースに、世界最小・最軽量で世界初のペン型電動ピペット「pipetty」の開発・商品化に成功。開発時に知財総合支援窓口の支援を受け、国内外に特許出願するとともに、意匠や商標も出願。

### 知的財産関連予算

- 県の知的財産関連予算は6,600千円。内訳は、戦略的知財活用支援事業に関する予算が5,900千円（うち独自の知的財産人材にかかる予算が1,500千円）。岩手県発明くふう展の開催に関する予算が380千円。

### 市町村の取組で 特筆すべき事例

- 盛岡市：大学の研究成果の企業への技術移転、新規創業支援及び研究開発型企業の誘致を推進するため、岩手大学工学部構内に「盛岡市産学官連携研究センター（コラボMIU）」を設置した。



# I. 岩手県の知的財産の現状

## ～コラム「岩手県オリジナル水稻新品種のブランド化」～

### オリジナル水稻新品種「金色の風」「銀河のしずく」を官民連携でブランド化。

#### 1 基本情報

##### ◆金色の風（こんじきのかぜ）

- ・ 岩手県産米の最高級品種であり、国産米の常識を打ち破る、「ふわりとした食感」と「豊かな甘み」を楽しめるお米であり、平成28年秋にデビューした。
- ・ 「最高級で贅沢なイメージ」のお米として首都圏、名古屋、大阪などの米穀専門店、百貨店、料亭を重点に販路開拓を図っている。
- ・ ブランドイメージの定着・保護を図るため、ロゴマークを制作して商標出願し、平成28年12月に商標登録された（右上図）。

##### ◆銀河のしずく

- ・ 白くてつやがあり、「かるやかな口あたり」と「ほのかな甘み」を楽しむことができるお米で、平成28年秋にデビューした。
- ・ 日経トレンド主催の「米のヒット甲子園2016」で大賞を受賞した。おにぎり食味会では2位入賞。
- ・ 「洗練されたお洒落なイメージ」のお米として、岩手県内や首都圏の米穀専門店、お米にこだわりを持つ飲食店を重点に販路開拓を図っている。
- ・ ブランドイメージの定着を図るため、ロゴマークを制作して、商標出願し、平成28年8月に商標登録された（右下図）。

#### 2 認知度向上のための取組

- ・ ロゴマークは、マニュアルや管理要綱で使用基準を設け、のぼり・ポスターなどに利用し、統一感のあるプロモーションを展開している。
- ・ 米以外にも、新品種を使った菓子や日本酒などで使用を許可している。



#### 3 ブランド確立のための取組

- ・ 「いわてオリジナル品種ブランド化戦略」を策定し、これにもとづき、それぞれの品質目標を設定し、作付農家をはじめ農業団体が中心となって、その徹底を図っている。



# I. 岩手県の知的財産の現状

## 5. 支援事業 (2) 国との連携事業

- ・ 知財総合支援窓口での相談件数は増加傾向にあり、平成27年度は1,428件である。
- ・ 外国出願補助金の採択は、平成27年度は5件であり、平成25年度以降大きな変化はない。

知財総合支援窓口における相談件数

(単位:件)



出典: 特許庁普及支援課

知財総合支援窓口における相談件数の全国順位

|      | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|------|--------|--------|--------|--------|
| 全国順位 | 23位    | 31位    | 22位    | 27位    |

出典: 特許庁普及支援課

外国出願補助金採択数

(単位:件)

|      | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|------|--------|--------|--------|--------|
| 特許   | 5      | 2      | 7      | 1      |
| 実用新案 | -      | 0      | 0      | 0      |
| 意匠   | 0      | 2      | 0      | 2      |
| 商標   | 8      | 0      | 0      | 2      |
| 冒認対策 | -      | 0      | 0      | 0      |
| 合計   | 13     | 4      | 7      | 5      |

出典: 特許庁普及支援課

知的財産権制度説明会(初心者向け)参加者数

|      | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 |
|------|--------|--------|--------|--------|
| 参加者数 | 92名    | 61名    | 80名    | 87名    |

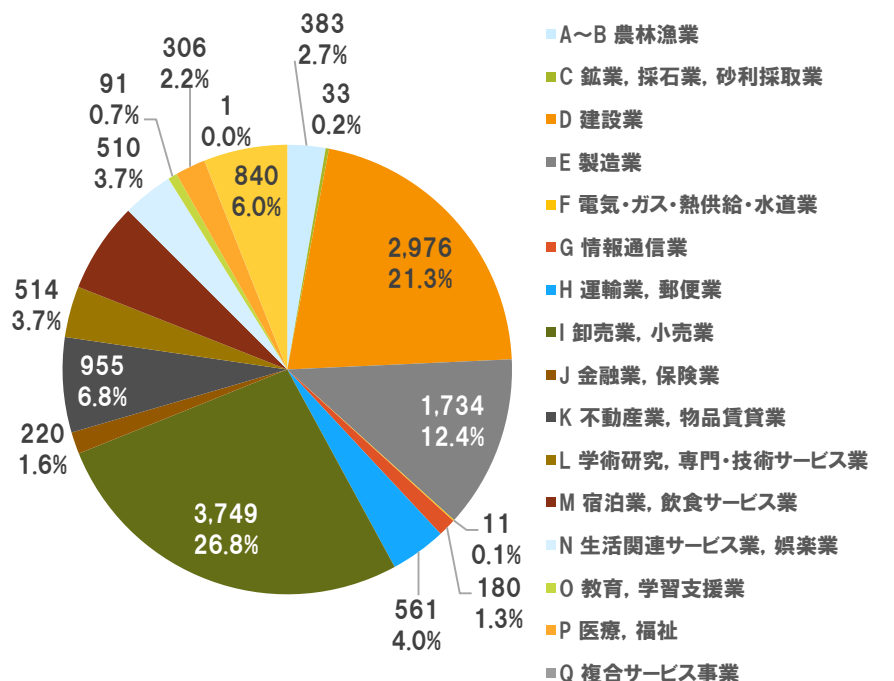
出典: 特許庁普及支援課

## II. 岩手県の産業特性と知的財産活用事例

### 1. 産業特性

- 業種別企業数は、卸売業・小売業が全体の26.8%と最も多く、次いで建設業21.3%、製造業12.4%となっている。
- 製造品出荷額は、輸送用機械器具製造業が最も多い。全国順位では、17位となっている。

業種別企業数



出典：経済センサス(平成26年)

産業中分類別製造品出荷額および事業所数(平成26年度)

|                    | 製造品出荷額  |      | 事業所数 |      |
|--------------------|---------|------|------|------|
|                    | 額(百万円)  | 全国順位 | 数(所) | 全国順位 |
| 輸送用機械器具製造業         | 569,445 | 17   | 62   | 34   |
| 食料品製造業             | 339,128 | 22   | 499  | 21   |
| 電子部品・デバイス・電子回路製造業  | 209,273 | 31   | 87   | 21   |
| 生産用機械器具製造業         | 167,327 | 28   | 160  | 29   |
| 窯業・土石製品製造業         | 104,928 | 26   | 131  | 33   |
| 鉄鋼業                | 95,666  | 29   | 47   | 26   |
| はん用機械器具製造業         | 90,432  | 28   | 45   | 34   |
| 金属製品製造業            | 87,716  | 32   | 179  | 30   |
| パルプ・紙・紙加工品製造業      | 81,676  | 29   | 32   | 40   |
| 業務用機械器具製造業         | 78,956  | 22   | 41   | 24   |
| 情報通信機械器具製造業        | 70,643  | 24   | 33   | 15   |
| 木材・木製品製造業(家具を除く)   | 61,327  | 15   | 137  | 19   |
| 化学工業               | 53,198  | 39   | 21   | 39   |
| 電気機械器具製造業          | 49,380  | 40   | 55   | 34   |
| プラスチック製品製造業(別掲を除く) | 42,554  | 37   | 87   | 32   |
| その他の製造業            | 40,203  | 26   | 67   | 32   |
| 印刷・同関連業            | 37,517  | 28   | 97   | 31   |
| 繊維工業               | 25,196  | 36   | 178  | 25   |
| 飲料・たばこ・飼料製造業       | 16,869  | 42   | 59   | 28   |
| 非鉄金属製造業            | 15,197  | 41   | 20   | 30   |
| 石油製品・石炭製品製造業       | 12,145  | 25   | 19   | 20   |
| ゴム製品製造業            | 7,669   | 35   | 15   | 27   |
| なめし革・同製品・毛皮製造業     | 7,379   | 12   | 16   | 16   |
| 家具・装備品製造業          | 6,871   | 40   | 43   | 41   |

注：従業者4人以上の事業所

出典：経済産業省工業統計調査(平成22年～26年)

## II. 岩手県の産業特性と知的財産活用事例

### 2. 県内企業による知的財産活用事例 ① 株式会社岩鑄

伝統を守りながら、海外に活路に見出し、世界に通じるブランドを実現。

#### 1 基本情報

- ・ 所在地：岩手県盛岡市南仙北2-23-9
- ・ 設 立：昭和37年4月（創業：明治35年6月）
- ・ 資本金：93.2百万円
- ・ 従業員：80名（役員除く）

#### 2 事業概要および特徴

- ・ 1902（明治35）年の創業以来、110余年にわたり、伝統の技を守り、そして新しい伝統を創造する本場・盛岡 南部鐵器を一貫生産するトップメーカーとして、年間100万点（主に鉄瓶、急須、鍋、小物風鈴など）にのぼる製品を製造・販売している。
- ・ 国内市場から海外市場に事業展開することによって、ブランド力を高め、海外の顧客に対応するために国・地方自治体の支援策を広く活用している。

#### 3 海外進出によるブランド戦略

- ・ 国内の需要は年々減少傾向にあり、伝統を守りながら前に進むために、海外に活路を見出し、輸出を始めた。
- ・ 海外販路を開拓するにあたり、模倣品対策として輸出先の20か国（米国、欧州、カナダ、韓国等）で商標を登録した。
- ・ 意匠も10数件登録しているが商品化しているのは10件である。売れ行きが芳しくなかったり、他に似たようなものがあれば、権利は放棄する考えである。



＜カラフルな南部鉄器の急須＞

## II. 岩手県の産業特性と知的財産活用事例

### 2. 県内企業による知的財産活用事例 ① 株式会社岩鑄

#### 4 伝統を守りながら、ニーズにあった製品を製作

- 1996年頃、パリの紅茶専門店から「カラフルな急須を作ってほしい」という依頼があった。当時は鉄器は黒いのが当たり前で、本当に売れるのかという不安もあったが、同社の職人たちは3年かけて、着色法を開発した。
- ウレタン樹脂を吹き付け、食品用顔料を使ってカラフルな着色を実現した。そうして製作した急須は、内側はフタの裏までホーロー引きでカラフルだが、鑄肌はちゃんと生きており、南部鉄器としての重厚さを保っている。
- 海外の現地、現場を何度も訪問し、海外の消費者の視点を知ることが重要と考えており、彼らの視点・要望を踏まえてそれぞれの国に合ったものを提供している。
- 欧米では「急須」、中国では「鉄瓶」、アジアは「鍋関連」と国によって求められるものが異なる。海外からの要望に耳を傾け、挑戦したからこそ、カラフルな急須が生まれ、それが逆輸入されて日本でも人気になっている。
- 400年前から続く伝統的技法は大事に残しながら、その都度、生活様式や消費者のニーズに合ったものを生み出している。

#### 5 グッドデザイン賞を受賞

- 同社社長が代表理事を務める南部鉄器協同組合が岩手県工業技術センターと共同開発した「ユニバーサルデザインの南部鉄瓶」がグッドデザイン賞（主催（公財）日本デザイン振興会）を受賞したことで、海外の取引先との信頼関係も深まり、協同組合の横の連携に貢献した。

#### 6 国・地方自治体の支援策を広く活用

- 知的財産専任担当者はおらず、品質管理担当者が知的財産関連業務を兼務している。
- 同担当者でデザインの担当者は、岩手県工業技術センターやいわて産業振興センターなどからの紹介を受け、外部の知的財産研修を受講している。
- 海外進出のため、知的財産に関するものを含め、国・地方自治体の様々な支援策（外国出願費用の助成等）を活用している。

#### 7 伝統技術・文化を守ることで品質を維持

- 製造技術の特許取得は実現しなかったが、鉄器製造の作業工程ごとにマニュアル化を進め、品質向上や納期短縮などの工程改善に努めている。
- 欧州では類似品が出回っているが、外見は似ていても中身は全く違うことから脅威には感じていない。
- 日本の伝統文化の質は守り、海外の要望に応え、伝統技術（ノウハウ）の蓄積に励んでいる。

## II. 岩手県の産業特性と知的財産活用事例

### 2. 県内企業による知的財産活用事例 ② さいとう製菓株式会社

**主力商品である「かもめの玉子」の改良を怠らず、ブランド力を維持・向上。震災復興にも貢献し、更に事業を拡大。**

#### 1 基本情報

- ・ 所在地：岩手県大船渡市赤崎町字宮野5-1
- ・ 設 立：昭和54年1月（創業：昭和8年）
- ・ 資本金：50百万円
- ・ 従業員：160名（役員除く）

#### 2 事業概要および特徴

- ・ 同社の主力製品は、東北を代表する銘菓に成長した「かもめの玉子」である。
- ・ 「かもめの玉子」の商標は、平成15年3月に登録されている（第4656076号）。
- ・ 同社の現在の商標登録数は28件であるが、商品化しているのは「かもめの玉子」他、「南部藩」、「リンゴ日和」及び「恋し浜」など10件程度である。

#### 3 試行錯誤の結果「かもめの玉子」が誕生

- ・ 「かもめの玉子」は、現在の味と形にいたるまでには、さまざまな挑戦と失敗、そして工夫と発想の転換があった。
- ・ 現在の「かもめの玉子」につながる過程の中でもっとも大変だったのは、まんじゅうを本物の玉子型に焼くための機械の開発である。
- ・ この課題は、成型機導入の成功で克服し、増産が可能となった。
- ・ 手作りのときは、1人1分間で3個が限界であったが、成形機導入により、最終的には、1分間に40個まで生産性を上げることに成功した。
- ・ 素材も厳選し、豆、白ザラメ、小麦、卵黄など地域の産物にこだわっている。
- ・ 平成2年からは3年連続、ヨーロッパで最高の権威を誇る国際食品コンクール『モンドセレクション』で、金メダルを受賞した。
- ・ もともとの商品名は「鵠の玉子」であったが、平成11年に、よりやわらかい表現を意図して「かもめの玉子」に変更した（商標登録第4656076号）。



## II.岩手県の産業特性と知的財産活用事例

### 2.県内企業による知的財産活用事例 ② さいとう製菓株式会社

#### 4 「かもめの玉子」は商標で保護

- 商品化前に、先行する出願を調査した上で、商標登録出願を行っているが、商品化の目途が経たない商標は放棄している。
- 新製品発売は、他社とのコラボ商品も含めて年間3 - 4件のペースである。
- 商品の形状（たまご）が「かもめの玉子」と同一と思われるものが販売されているが、形状だけでは権利化が難しく、製造プロセスでの権利化を機械メーカーと検討したが成立しなかったため、「かもめの玉子」を守っているのは商標である。

#### 5 ブランド力によってコラボが実現

- 岩手県立大学や企業と、製品開発及び販売で協力している。
- 役割は商品構想を大学が考え、同社が製造、他社が販売となっている。
- 地域限定の商品の企画・製造も行っている。



<「かもめの玉子」(左)と「紅白かもめの玉子」(右)>

#### 6 ブランド力を発揮して、震災復興に貢献

- 東日本大震災により、本社、和菓子工場及び沿岸の5店舗（本店含む）が流失し、また多くの取引先も被災した。
- 震災後、約1か月で「かもめの玉子」の製造を再開し、年末までに被災した店舗を全て再開した。また、新たな店舗も開店した。
- この間、多くの顧客からの励ましや応援もあり、被災者へいち早く「かもめの玉子」を供給することができた。このような状況の中、「かもめの玉子」が十分なブランド力を発揮すると共に、多くの震災ボランティアにも土産物として選ばれた。

#### 7 ブランド力維持・浸透のため改良を継続

- 「かもめの玉子」ブランドを前面に出しながら、安全で安心、そして高品質なお菓子づくりに取り組むと共に、徹底した衛生管理と品質管理に努め、厳選した原材料を用い、素材の持ち味を活かした商品を提供することを経営理念としている。
- 季節限定商品など様々な玉子型商品も製造・販売しているが、これらは季節変動が大きい。
- ブランドが浸透している「かもめの玉子」は安定的に製造・販売されており、他の商品を伸ばすことよりも、「かもめの玉子」の形は維持しつつ、時代の変化に合わせて、味を変えたり、甘さなどを改良したり、飽きさせないことに重点を置いている。

写真提供：さいとう製菓株式会社

## II.岩手県の産業特性と知的財産活用事例

### 2.県内企業による知的財産活用事例 ③ 株式会社佐々木印刷

**特許取得によって売上増加と環境問題に貢献。公開特許のライセンスを受けて新商品を開発。**

#### 1 基本情報

- ・ 所在地：岩手県北上市口内町堰根91-4
- ・ 設 立：昭和55年4月
- ・ 資本金：15百万円
- ・ 従業員：24名

#### 2 事業概要および特徴

- ・ 時代のニーズに対応したラベルシール印刷を手がけ、現在は「技術と環境」を新たなテーマにして取り組んでいる。
- ・ 創業以来、赤字なしの業績を維持している（直近期の売上高5億5,000万円）。
- ・ 主力商品としては、台紙（はくり紙）を使わないシールとして話題を集める「ハグレス」や、青果物に直接張れる安全素材のラベルとして商品化に成功した「菜果ラベル」などがあり、独創的な商品開発によりユニークなシールラベルを生み出している。

#### 3 特許技術でコストダウン、環境問題に貢献

- ・ 同社の独創的な商品の一つ「ハグレス」は、台紙を使わないシールとして注目されている。
- ・ 台紙をはがす手間がないため、作業能率が向上するほか、ごみとして処理される台紙の削減、製品のコンパクト化・コストダウンに成功し、環境問題へも貢献できていると考えている。

#### 4 支援機関の協力で商品化

- ・ 10年以上の試行錯誤と実験・改良を重ねて、地元のいわて産業振興センターの協力も得て、通常ごみとして捨てられる台紙をなくしたラベル「ハグレス」を開発した。
- ・ ハグレスはテープ状に巻いたロールタイプとメモ帳状に重ね合わせた積層タイプがある。
- ・ さらに独自の特殊コーティング技術でシールラベルの表面にペンや鉛筆などで自由に書き込みすることができるようになっている。
- ・ ハグレスは運輸・流通業界、食料品関係の大手メーカーを始め、全国の自治体などに利用されている。



## II.岩手県の産業特性と知的財産活用事例

### 2.県内企業による知的財産活用事例 ③ 株式会社佐々木印刷

#### 5 ライセンス供与によって、新商品開発に着手

- ・ 大手企業が保有している技術に関する公開特許説明会（岩手県主催）に参加し、大手企業の特許使用契約を締結した。
- ・ 大手企業が特許権を保有する光触媒材料「チタンアパタイト」をシリコン剤に練り込み各種素材に塗工することで、消臭、抗菌、汚れ防止などの効果を持つ粘着商品や吸着シートの製造に取り組んだ。
- ・ 粘着塗工技術に、チタンアパタイト粉末を使用して、携帯電話用の防汚・抗菌シートなどの用途向けに「指紋の消える液晶保護フィルムkietta!（キエッタ）」を開発した。

#### 台紙（ハクリ紙）が無い分・・・

- 1 ゴミを削減
- 2 作業効率アップ
- 3 資源の削減
- 4 廃棄コストを低減
- 5 コンパクト

<台紙（ハクリ紙）が無い場合のメリット>

#### 6 メディア掲載で、自治体との契約が増加

- ・ ハグレスが新聞や雑誌に取り上げられたことで利用する自治体が増加し、シェアを伸ばしている。これも特許取得による効果大きい。
- ・ 現在、同社ではハグレスに関するものなど8件の特許を取得している。
- ・ 順調に商品化・販売しているものもあれば、なかなか実用化できないものもあるが、維持費用が高くなっても特許の取得に積極的である。



<同社の製品例>

## II. 岩手県の産業特性と知的財産活用事例

### 2. 県内企業による知的財産活用事例 ④ サンポット株式会社

**事業環境の変化に応じた技術開発、知的財産活用及び新製品の投入により業績を向上。**

#### 1 基本情報

- ・ 所在地：岩手県花巻市北湯口第2地割1-26
- ・ 設 立：昭和40年4月
- ・ 資本金：9億6220万円
- ・ 従業員：291名

#### 2 事業概要および特徴

- ・ 石油ストーブ、温水暖房、給湯機・風呂釜などの一般家庭用製品から、体育館などの大規模施設用の暖房システムまで扱う、環境対応型総合暖房機器メーカー。
- ・ 昨年50周年を迎えており、売上高（105億円）の推移は横ばいながら、利益を確保している。
- ・ 知的財産活動に関しては、特許・実用新案を70件ほど権利化しており、当初は石油の燃料装置が多かったが、最近はヒートポンプ関連、安全機能関連の分野が増えてきている。

#### 3 事業環境の変化に対応した研究開発

- ・ 主力製品である石油燃焼機器は、今後、世帯数の減少や自然再生エネルギーの活用により売上は減少することは確実である。同社は、現在、石油暖房機器メーカーから総合暖房システムメーカーへの転換に取り組んでいる。
- ・ そのキーワードが、「省資源」「省エネ」「リサイクル」である。これらは既に、ペレットストーブやエコフィール、地中熱ヒートポンプで実現しており、さらに新たな自然再生エネルギーの研究に取り組んでいる。

#### 4 新分野における特許取得による差別化が実現

- ・ 長年培ってきた環境に対する高い技術力と製品で社会ニーズに応え、低炭素社会造りに貢献することを目指している。
- ・ 以下の新製品は、熱効率の向上・改善、運転制御方法、ヒートポンプの効率化、木質ペレット燃料バーナーの改良、地中熱ヒートポンプ制御及び遠隔操作システム等の発明を特許として権利化することで差別化を実現している。
  - ・ バイオマス燃焼機器 ペレットストーブ
  - ・ 潜熱回収式灯油ボイラー エコフィール
  - ・ 地中熱ヒートポンプ

## II. 岩手県の産業特性と知的財産活用事例

### 2. 県内企業による知的財産活用事例 ④ サンボット株式会社

#### 5 報奨金により社員のモチベーションアップ

- ・ 特許を専門とする部門はなく、品質部門が兼務している。
- ・ 技術部門から特許出願の要望があれば、特許事務所（1社、東京）に出願前の先行技術調査を依頼している。また、製品を上市する前に他社の権利を侵害していないのかも調べてもらっている。
- ・ 技術部門合計40数名いるが特許取得のモチベーションの1つに、出願・特許時の両方で支払われる報奨金がある。
- ・ 技術部門の全体10%が毎年、報奨金の対象になっている。出願件数は発明者の連名もあり、年間3 - 4件程度である。

#### 6 環境分野において各地域の機関と共同研究

- ・ 同社は環境技術に注力しており、公的機関と共同研究を行っている。
- ・ 例えば前述のペレットストーブについては岩手県工業技術センターとの、地中熱ヒートポンプについては北海道大学との共同研究によるものである。
- ・ また、北海道立林産試験場とも自然エネルギーを利用した融雪システムの共同研究を行っている。

#### 7 地域密着型の産学連携が新分野進出の基本

- ・ 同社にとって新分野進出の負担は大きいが、（国研）新エネルギー・産業技術総合開発機構や環境省、岩手県の諸制度を活用した産学官連携により、開発人材の負担や資金リスクを低減している。
- ・ また、産学官連携により開発製品のPRを効果的に行っている。岩手県工業技術センターは、ペレットストーブについて同センターが事業化に関わった成功事例としてあらゆる機会を活用してPRしている。



＜いろいろなタイプのペレットストーブ＞

### III. 參考資料

# 目次

---

## 1. 岩手県内の産業の現状

- (1) 人口および世帯数
- (2) 業種別企業数
- (3) 規模別事業所数
- (4) 業種別売上高
- (5) 製造品出荷額
- (6) 県内総生産
- (7) 付加価値額
- (8) 産業別特化係数
- (9) 地域経済循環
- (10) 中小・小規模企業財務比較

## 2. 知的財産に関する現状

- (1) 企業や大学研究機関等における研究開発費
- (2) 特許等の発明者数・創作者数
- (3) 特許情報提供事業者
- (4) 地域団体商標の取得団体及び地理的表示保護制度の登録団体
- (5) 国・地方公共団体・関係機関による表彰企業リスト
- (6) 産学連携等の実績
- (7) 県のアンケート調査結果

## 3. 知的財産教育に力を入れている教育機関

- (1) 知的財産教育に力を入れている教育機関

## 4. 支援機関

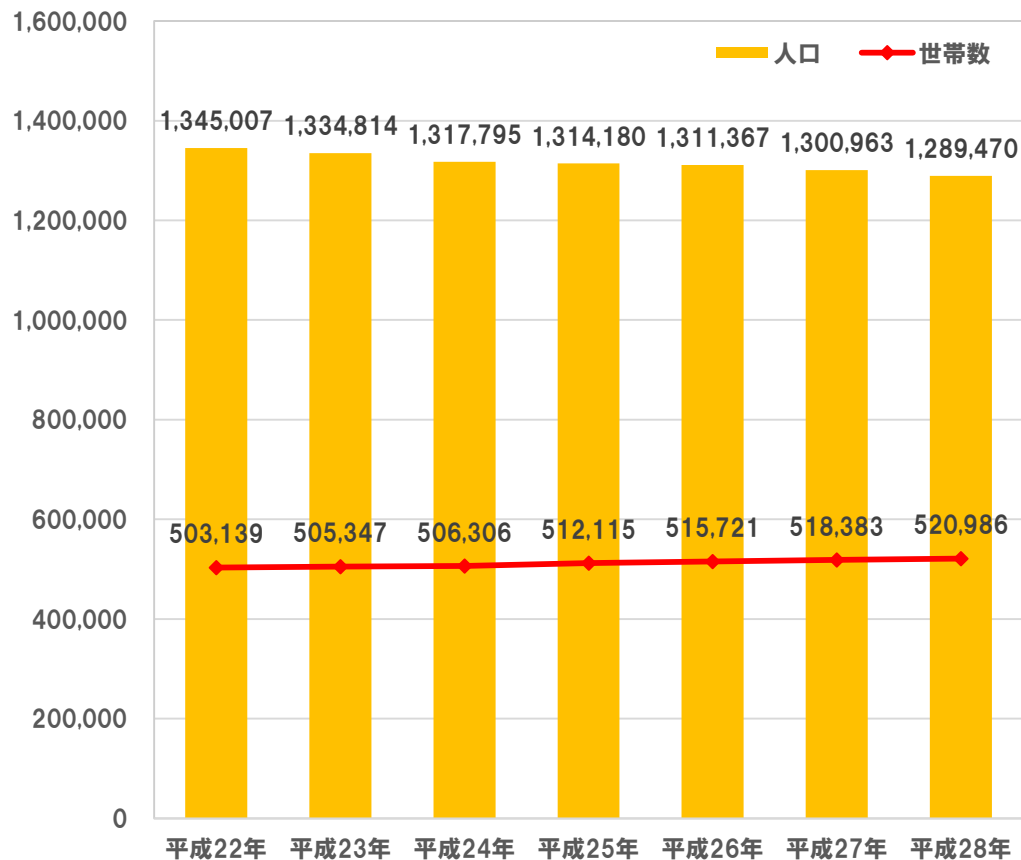
# 1. 岩手県の産業の現状

## (1) 人口および世帯数

- 平成22年以後、人口は減少傾向、世帯数は増加傾向にある。

### 人口および世帯数の推移

(単位:人・世帯)



(単位:人・世帯)

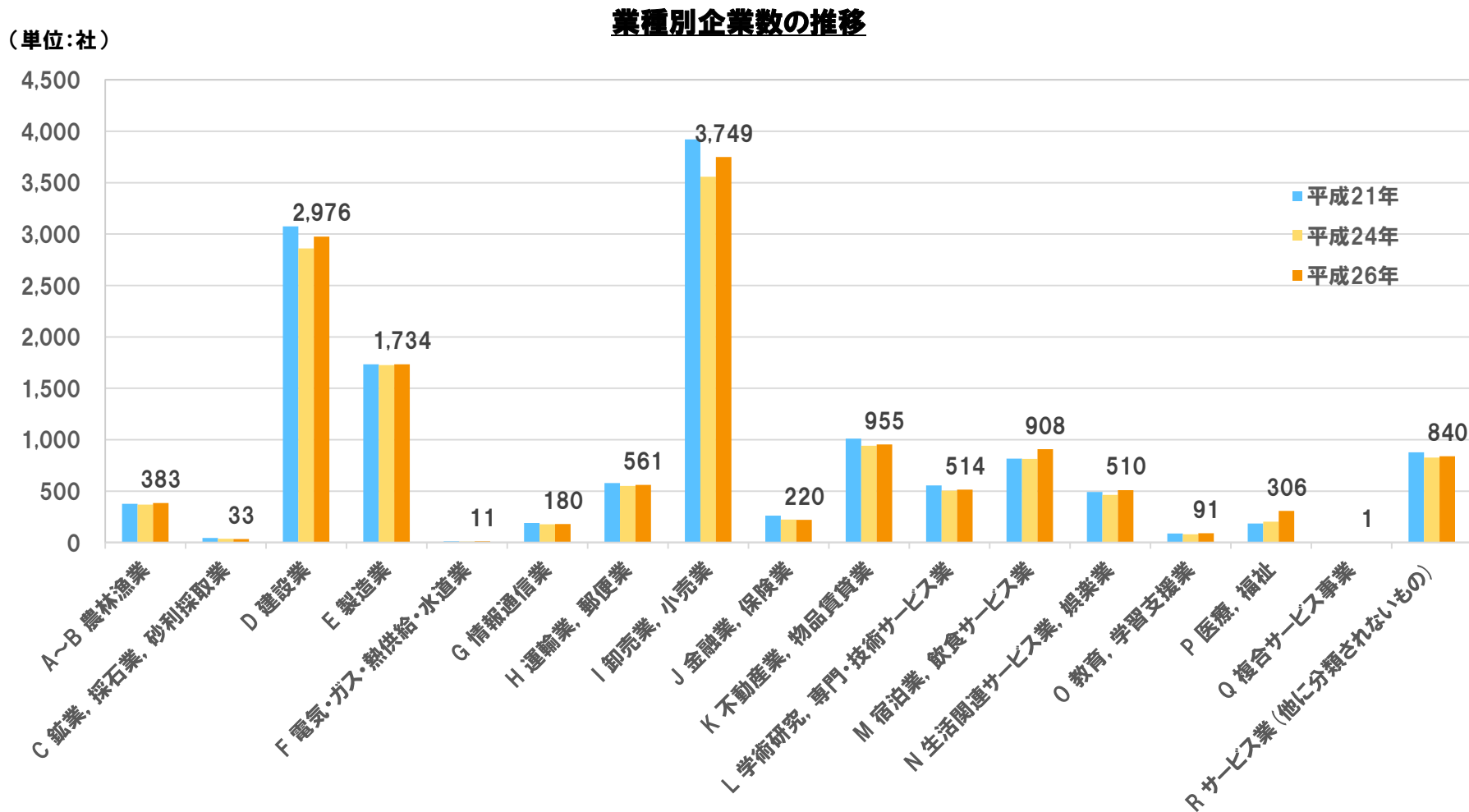
| 年     | 男       | 女       | 人口        | 世帯数     |
|-------|---------|---------|-----------|---------|
| 平成22年 | 645,922 | 699,085 | 1,345,007 | 503,139 |
| 平成23年 | 641,096 | 693,718 | 1,334,814 | 505,347 |
| 平成24年 | 632,865 | 684,930 | 1,317,795 | 506,306 |
| 平成25年 | 630,345 | 683,835 | 1,314,180 | 512,115 |
| 平成26年 | 629,528 | 681,839 | 1,311,367 | 515,721 |
| 平成27年 | 624,594 | 676,369 | 1,300,963 | 518,383 |
| 平成28年 | 619,365 | 670,105 | 1,289,470 | 520,986 |

出典: 総務省 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数

# 1. 岩手県の産業の現状

## (2) 業種別企業数

- ・ 企業数では、卸売業・小売業が最も多く、次いで建設業、製造業となっている。
- ・ 平成24年から26年の期間にはいずれの業種も企業数は微増、横ばいの傾向にある。



出典:経済センサス(平成21年・24年・26年結果)



# 1. 岩手県の産業の現状

## (3) 規模別事業所数

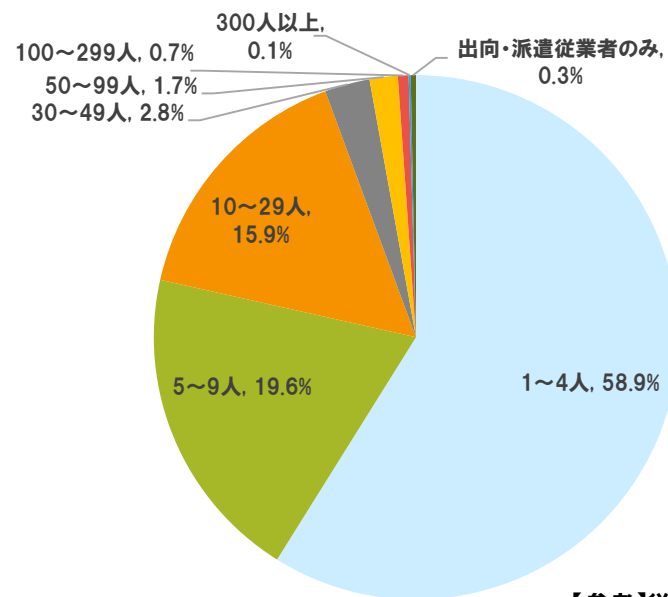
- 事業所数は、平成24年から26年の間に1,949件増加している。
- 従業員規模別事業所数の割合では、概ね全国と同じである。

**従業員規模別事業所数の推移**

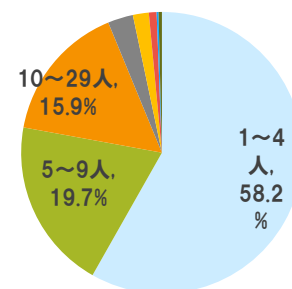
| 従業者規模               | 平成24年  |         | 平成26年  |         |
|---------------------|--------|---------|--------|---------|
|                     | 事業所数   | 従業者数(人) | 事業所数   | 従業者数(人) |
| A～R 全産業<br>(S公務を除く) | 57,551 | 509,979 | 59,500 | 536,313 |
| 1～4人                | 34,385 | 71,392  | 35,039 | 72,142  |
| 5～9人                | 11,140 | 73,177  | 11,678 | 76,883  |
| 10～29人              | 8,851  | 141,033 | 9,437  | 150,639 |
| 30～49人              | 1,502  | 56,727  | 1,656  | 62,313  |
| 50～99人              | 977    | 65,852  | 1,033  | 69,561  |
| 100～299人            | 396    | 61,323  | 391    | 60,883  |
| 300人以上              | 69     | 40,475  | 73     | 43,892  |
| 出向・派遣従業者のみ          | 231    | -       | 193    | -       |

出典：経済センサス 活動調査(平成24年、平成26年)

**従業員規模別事業所数の割合(平成26年)**



**【参考】従業員規模別事業所数(全国)**



出典：経済センサス 活動調査(平成26年)

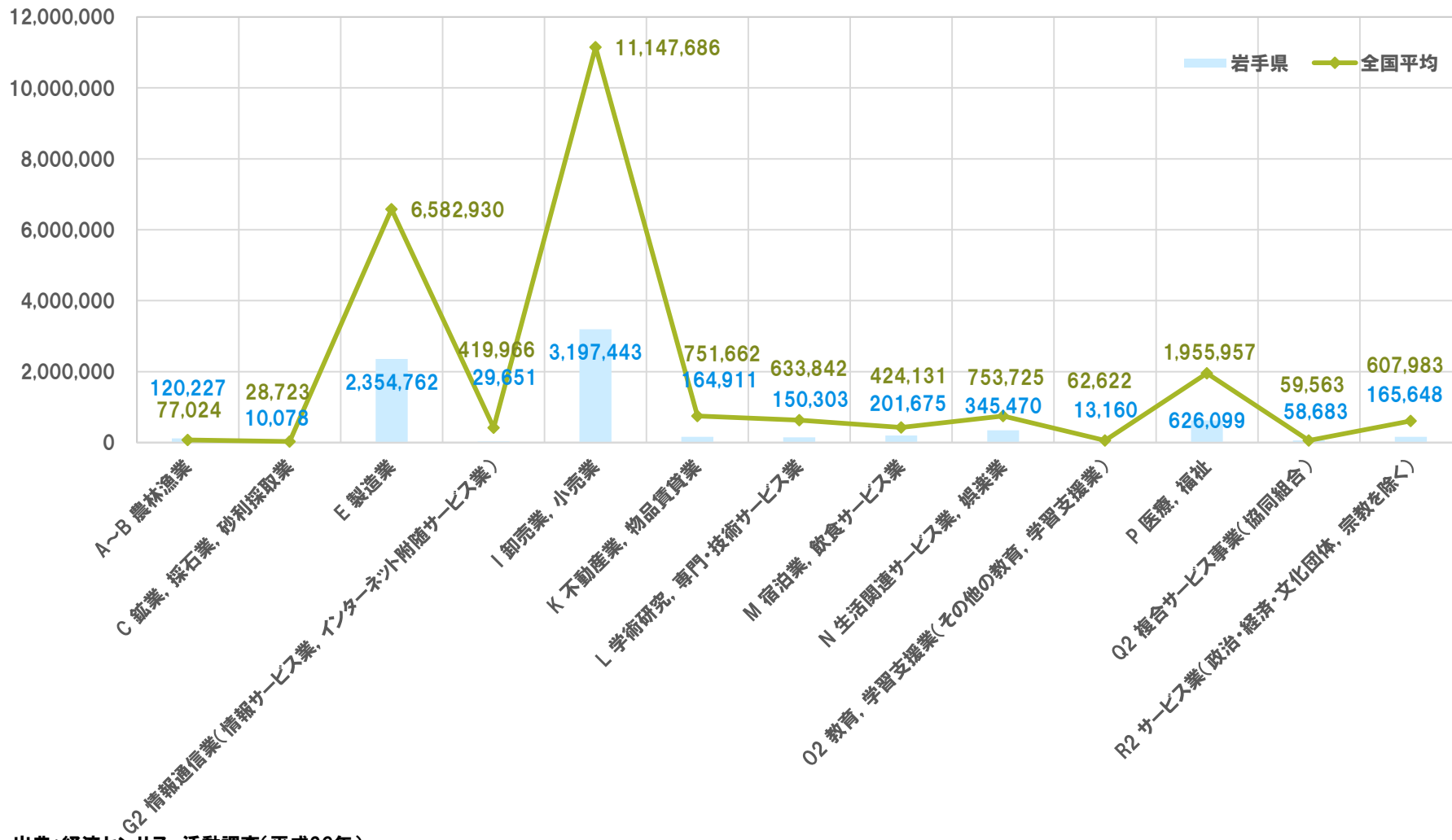
# 1. 岩手県の産業の現状

## (4) 業種別売上高

- 業種別売上高では、卸売業・小売業が最も多く、次いで製造業が多くなっている。
- 農林漁業以外の全ての業種で、全国平均を下回っている。

### 業種別売上高

(単位:百万円)



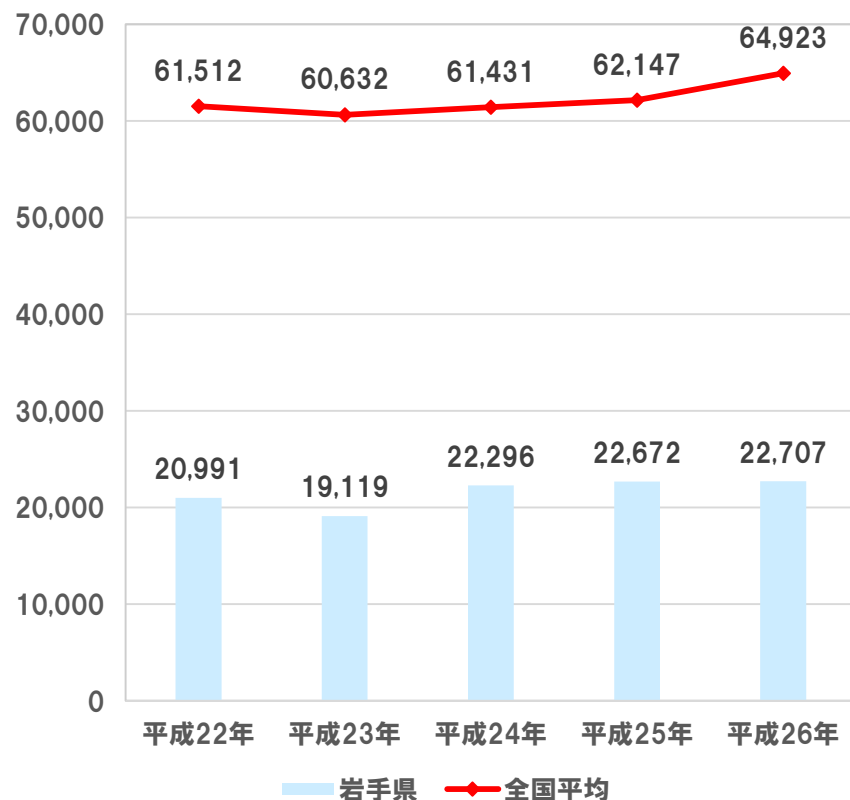
# 1. 岩手県の産業の現状

## (5) 製造品出荷額

- 製造品出荷額は、全国平均の30～35％程度で、ほぼ横ばい。産業分類別では、輸送用機械器具製造業、食料品製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業が多く、全国順位で17位、22位、31位である。
- 産業分類別事業所数は、食料品製造業、金属製品製造業、繊維工業が多く、全国順位で21位、30位、25位。

### 製造品出荷額の推移

(単位:億円)



注:従業者4人以上の事業所

出典: 経済産業省工業統計調査(平成22年～26年)

### 産業中分類別製造品出荷額および事業所数(平成26年度)

|                    | 製造品出荷額  |      | 事業所数 |      |
|--------------------|---------|------|------|------|
|                    | 額(百万円)  | 全国順位 | 数(所) | 全国順位 |
| 輸送用機械器具製造業         | 569,445 | 17   | 62   | 34   |
| 食料品製造業             | 339,128 | 22   | 499  | 21   |
| 電子部品・デバイス・電子回路製造業  | 209,273 | 31   | 87   | 21   |
| 生産用機械器具製造業         | 167,327 | 28   | 160  | 29   |
| 窯業・土石製品製造業         | 104,928 | 26   | 131  | 33   |
| 鉄鋼業                | 95,666  | 29   | 47   | 26   |
| はん用機械器具製造業         | 90,432  | 28   | 45   | 34   |
| 金属製品製造業            | 87,716  | 32   | 179  | 30   |
| パルプ・紙・紙加工品製造業      | 81,676  | 29   | 32   | 40   |
| 業務用機械器具製造業         | 78,956  | 22   | 41   | 24   |
| 情報通信機械器具製造業        | 70,643  | 24   | 33   | 15   |
| 木材・木製品製造業(家具を除く)   | 61,327  | 15   | 137  | 19   |
| 化学工業               | 53,198  | 39   | 21   | 39   |
| 電気機械器具製造業          | 49,380  | 40   | 55   | 34   |
| プラスチック製品製造業(別掲を除く) | 42,554  | 37   | 87   | 32   |
| その他の製造業            | 40,203  | 26   | 67   | 32   |
| 印刷・同関連業            | 37,517  | 28   | 97   | 31   |
| 繊維工業               | 25,196  | 36   | 178  | 25   |
| 飲料・たばこ・飼料製造業       | 16,869  | 42   | 59   | 28   |
| 非鉄金属製造業            | 15,197  | 41   | 20   | 30   |
| 石油製品・石炭製品製造業       | 12,145  | 25   | 19   | 20   |
| ゴム製品製造業            | 7,669   | 35   | 15   | 27   |
| なめし革・同製品・毛皮製造業     | 7,379   | 12   | 16   | 16   |
| 家具・装備品製造業          | 6,871   | 40   | 43   | 41   |

注:従業者4人以上の事業所

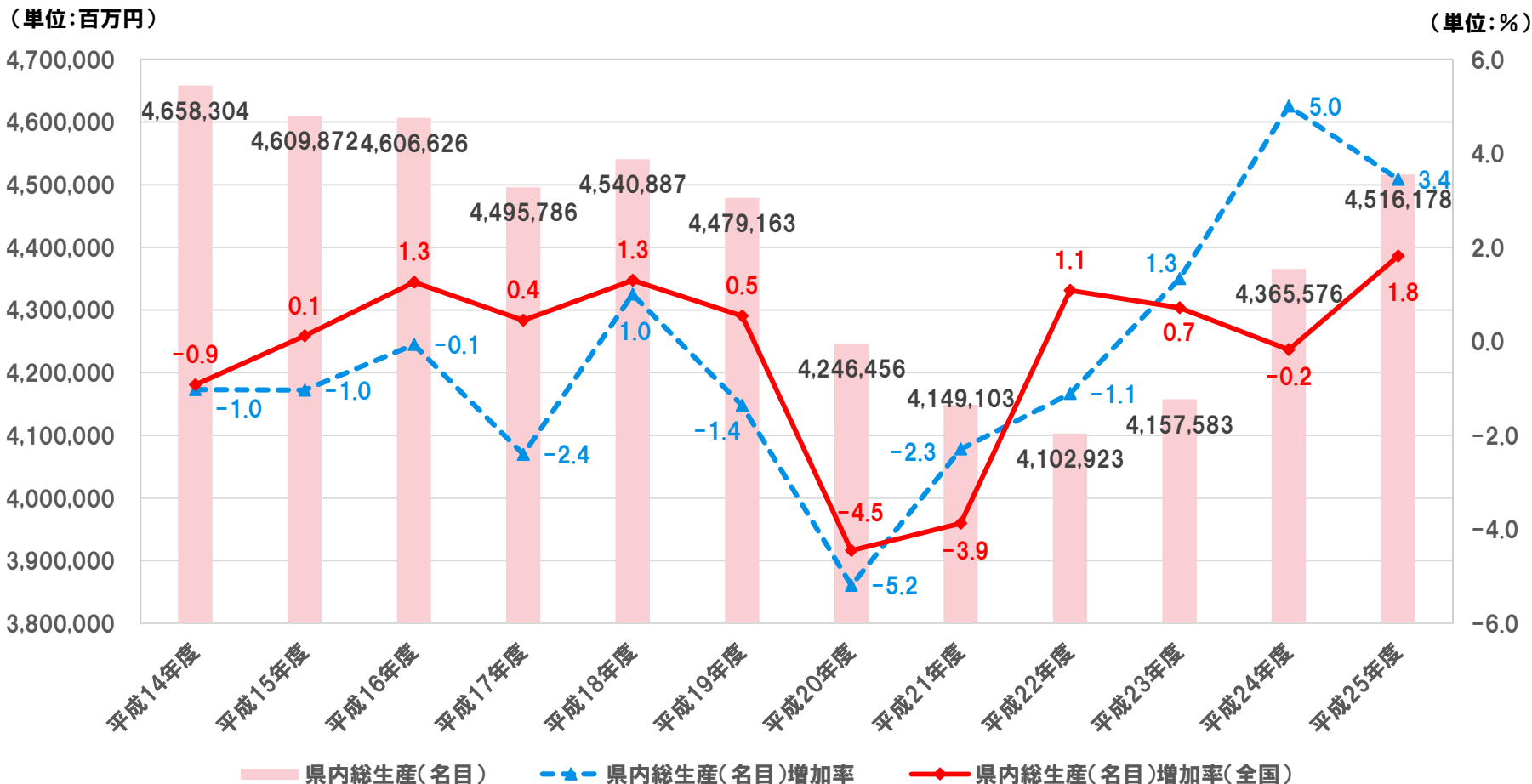
出典: 経済産業省工業統計調査(平成22年～26年)

# 1. 岩手県の産業の現状

## (6) 県内総生産

- 県内総生産は、平成25年度で4,516,178百万円。全国順位29位である。増加率は全国と比較して、平成23年度以降大きく上回っている。

県内総生産の推移



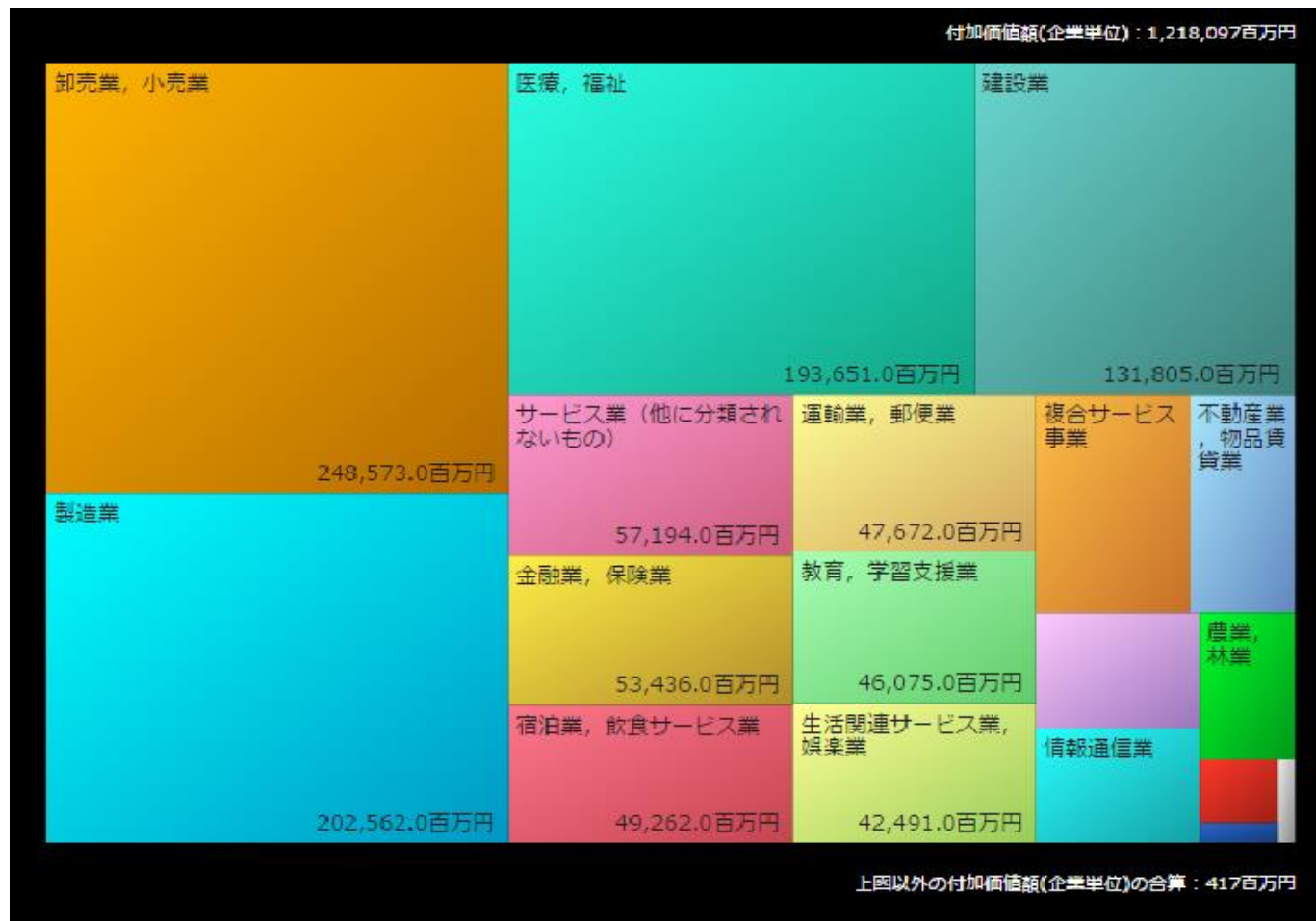
出典：内閣府 県民経済計算(平成14年度～平成25年度)

# 1. 岩手県の産業の現状

## (7) 付加価値額

- 産業大分類別の付加価値額では、卸売業・小売業が248,573百万円と最も高く、次いで製造業が202,562百万円、医療・福祉が193,651百万円となっている。

産業大分類別付加価値額(企業単位)(平成24年)



出典: 地域経済分析システム(RESAS)産業構造マップ-全産業の構造

# 1. 岩手県の産業の現状

## (8) 産業別特化係数

- 付加価値額では、木材・木製品製造業(家具を除く)の特化係数が高い。平成2年と平成24年を比較すると、なめし革・同製品・毛皮製造業の特化係数が大きく伸びている。
- 労働生産性では、パルプ・紙・紙加工品製造業、印刷・同関連業、窯業・土石製品の特化係数が高い。

製造業中分類別産業特化係数(平成2年、平成24年)

| 業種中分類名              | 平成2年         |             |                 |                 | 平成24年        |             |                 |                 |
|---------------------|--------------|-------------|-----------------|-----------------|--------------|-------------|-----------------|-----------------|
|                     | 付加価値額<br>(円) | 従業者数<br>(人) | 特化係数<br>(付加価値額) | 特化係数<br>(労働生産性) | 付加価値額<br>(円) | 従業者数<br>(人) | 特化係数<br>(付加価値額) | 特化係数<br>(労働生産性) |
| 食料品製造業              | 8,956,921    | 19,934      | 1.7111          | 0.5614          | 10,581,069   | 17,929      | 1.6900          | 0.7031          |
| 飲料・たばこ・飼料製造業        | 2,057,560    | 1,180       | 1.2775          | 0.8001          | 654,933      | 862         | 0.3766          | 0.2920          |
| 繊維工業                | 4,504,749    | 16,495      | 1.2170          | 0.4920          | 1,496,368    | 5,284       | 1.3668          | 0.4888          |
| 木材・木製品製造業(家具を除く)    | 3,548,328    | 5,384       | 3.4500          | 0.9208          | 1,718,090    | 2,289       | 3.3491          | 0.9255          |
| 家具・装備品製造業           | 390,167      | 780         | 0.3481          | 0.6070          | 244,005      | 470         | 0.5274          | 0.7315          |
| パルプ・紙・紙加工品          | 1,106,384    | 1,070       | 0.5373          | 0.8436          | 1,789,358    | 1,163       | 1.1158          | 1.2018          |
| 印刷・同関連業             | 1,689,077    | 2,891       | 0.7079          | 0.6375          | 2,188,944    | 1,965       | 1.2569          | 1.2259          |
| 化学工業                | 1,650,726    | 948         | 0.2288          | 0.5534          | 2,567,444    | 1,479       | 0.3524          | 0.5489          |
| 石油製品・石炭製品           | 118,266      | 99          | 0.2555          | 0.4034          | 281,994      | 122         | 0.5252          | 0.5362          |
| プラスチック製品            | 1,630,931    | 2,741       | 0.6121          | 0.5867          | 1,589,982    | 2,827       | 0.5162          | 0.5151          |
| ゴム製品製造業             | 324,457      | 845         | 0.3684          | 0.4026          | 293,139      | 663         | 0.3973          | 0.4113          |
| なめし革・同製品・毛皮         | 337,050      | 981         | 1.1605          | 0.5224          | 209,673      | 542         | 2.5497          | 0.6329          |
| 窯業・土石製品             | 7,242,559    | 5,003       | 2.1334          | 1.1765          | 3,561,236    | 2,589       | 1.6917          | 1.0779          |
| 鉄鋼業                 | 2,585,153    | 3,609       | 0.8204          | 0.3871          | 1,715,469    | 1,537       | 0.8966          | 0.7337          |
| 非鉄金属                | 140,553      | 320         | 0.1063          | 0.3218          | 393,011      | 662         | 0.2919          | 0.4037          |
| 金属製品                | 3,626,082    | 4,952       | 0.6937          | 0.7121          | 3,872,722    | 5,229       | 1.0369          | 0.7753          |
| 一般(はん用・生産用・業務用)機械器具 | 6,695,833    | 9,637       | 0.6611          | 0.5849          | 10,936,856   | 12,286      | 1.1539          | 0.6936          |
| 電子部品、電気・情報通信機器      | 26,091,338   | 35,701      | 1.9264          | 0.6403          | 9,142,124    | 13,176      | 1.0219          | 0.5489          |
| 輸送用機械器具             | 1,032,583    | 1,581       | 0.1213          | 0.4353          | 10,711,536   | 7,228       | 0.9351          | 0.8274          |
| その他の製造業             | 1,900,533    | 4,412       | 1.1247          | 0.4863          | 1,229,553    | 2,080       | 1.1614          | 0.5688          |

注: 特化係数: 域内のある産業の比率を全国と同産業の比率と比較したもの。1.0を超えていれば、当該産業が全国に比べて特化している産業とされる。  
労働生産性の場合、全国の当該産業の数値を1としたときの、ある地域の当該産業の数値。

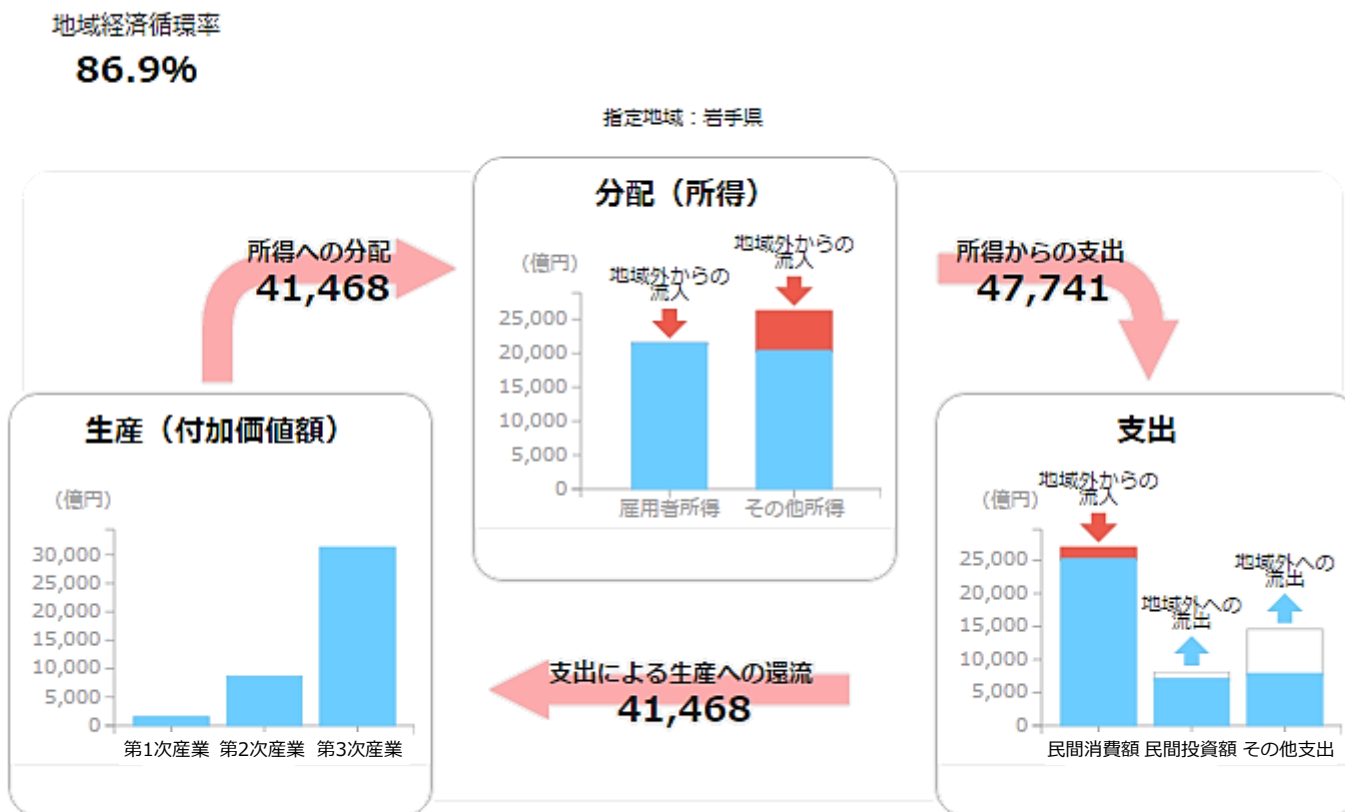
出典: 地域経済分析システム (RESAS) 地域経済循環マップー産業別特化係数

# 1. 岩手県の産業の現状

## (9) 地域経済循環

- 生産(付加価値額)は、他県と比較して第2次産業の割合がやや高いものの、中心は第3次産業である。分配(所得)は、その他所得の約5分の1が地域外から流入しているため、全体で流入超過となっている。
- 支出は、民間消費額が地域外から流入しているのに対して、民間投資額、その他支出は地域外に流出している。特にその他支出の地域外流出は、約半分程度であり、このために全体では流出超過となっている。

### 地域経済循環(平成22年)



出典：地域経済分析システム (RESAS) 地域経済循環マップー地域経済循環図

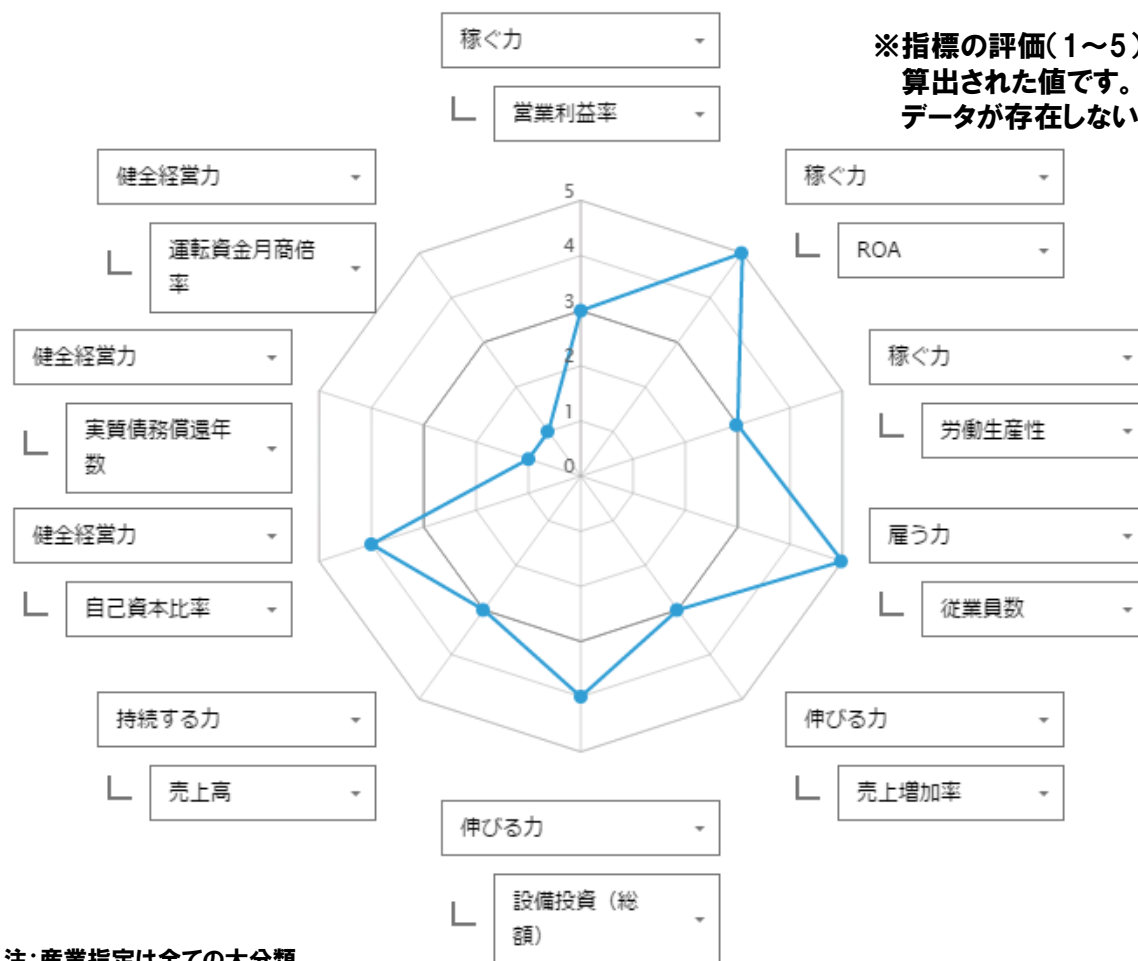


# 1. 岩手県の産業の現状

## (10) 中小・小規模企業財務比較

- 全国の中央値に比べて、従業員数といった「雇う力」は高いものの、実質債務償還年数や運転資金月商倍率等の「健全経営力」が低い。

● 岩手県 中小・小規模企業財務比較(平成26年)



注:産業指定は全ての大分類

出典:地域経済分析システム(RESAS)地域経済循環マップー中小・小規模企業財務比較

## 2. 知的財産に関する現状

### (1) 企業や大学研究機関等における研究開発費

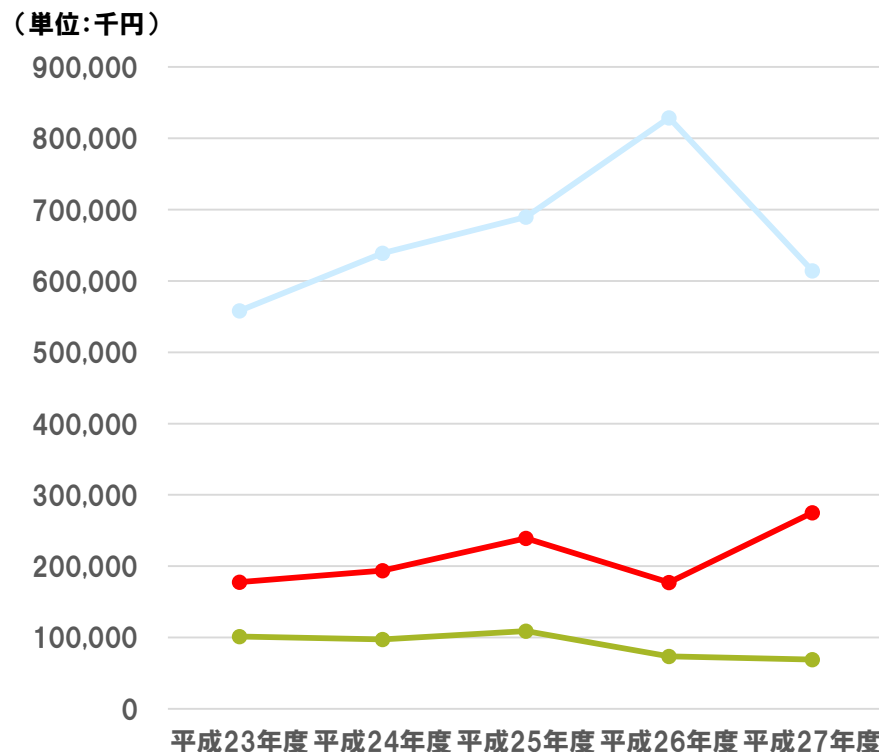
- 県内の大学研究機関等の研究開発費は、岩手大学が最も多い。岩手大学では、平成26年度まで増加傾向にあったが、平成27年度に急減し614百万円となっている。

大学研究機関等の研究開発費の推移

| 機関名    | 年度     | 共同研究 |             | 受託研究 |             | 合計  |             |
|--------|--------|------|-------------|------|-------------|-----|-------------|
|        |        | 件数   | 受入額<br>(千円) | 件数   | 受入額<br>(千円) | 件数  | 受入額<br>(千円) |
| 岩手大学   | 平成23年度 | 169  | 167,464     | 88   | 390,930     | 257 | 558,394     |
|        | 平成24年度 | 194  | 165,821     | 135  | 473,203     | 329 | 639,024     |
|        | 平成25年度 | 199  | 174,021     | 135  | 515,663     | 334 | 689,684     |
|        | 平成26年度 | 212  | 198,265     | 109  | 630,481     | 321 | 828,746     |
|        | 平成27年度 | 196  | 176,354     | 65   | 437,927     | 261 | 614,281     |
| 岩手県立大学 | 平成23年度 | 64   | 19,794      | 26   | 81,676      | 90  | 101,470     |
|        | 平成24年度 | 22   | 19,062      | 21   | 78,112      | 43  | 97,174      |
|        | 平成25年度 | 24   | 36,624      | 30   | 72,332      | 54  | 108,956     |
|        | 平成26年度 | 19   | 28,195      | 23   | 45,205      | 42  | 73,400      |
|        | 平成27年度 | 24   | 18,594      | 18   | 50,410      | 42  | 69,004      |
| 岩手医科大学 | 平成23年度 | 14   | 59,550      | 40   | 118,183     | 54  | 177,733     |
|        | 平成24年度 | 9    | 70,172      | 35   | 123,879     | 44  | 194,051     |
|        | 平成25年度 | 26   | 43,087      | 94   | 196,020     | 120 | 239,107     |
|        | 平成26年度 | 19   | 57,771      | 93   | 119,455     | 112 | 177,226     |
|        | 平成27年度 | 20   | 57,945      | 114  | 216,922     | 134 | 274,867     |

出典：文部科学省「大学等における産学連携等実施状況について」(平成23年～平成27年)

大学研究機関等の研究開発費の推移



● 岩手大学 ● 岩手県立大学 ● 岩手医科大学

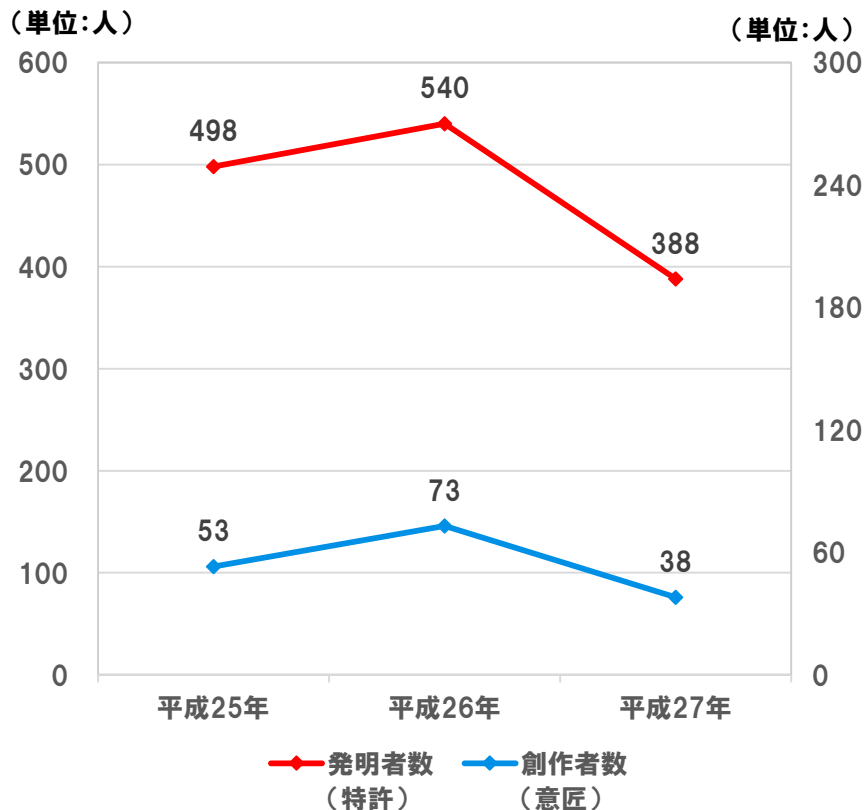
出典：文部科学省「大学等における産学連携等実施状況について」(平成23年～平成27年)

## 2. 知的財産に関する現状

### (2) 特許等の発明者数・創作者数

- 県内の発明者数および創作者数の推移は以下の通り。発明者数(特許)が全国45位、創作者数(意匠)が42位である。

**発明者数(特許)および創作者数(意匠)の推移**



|          | 平成25年 | 平成26年 | 平成27年 | 全国順位(27年) |
|----------|-------|-------|-------|-----------|
| 発明者数(特許) | 498   | 540   | 388   | 45位       |
| 創作者数(意匠) | 53    | 73    | 38    | 42位       |

注:日本人によるもの  
出典:「特許行政年次報告書2016年版」

注:日本人によるもの  
出典:「特許行政年次報告書2016年版」

## 2. 知的財産に関する現状

### (3) 特許情報提供事業者

- ・ 特許情報提供事業者として各サービス内容別に登録している事業者はいない。

#### 特許情報提供事業者

| サービス内容 | 事業者名 |
|--------|------|
| 該当なし   |      |

出典:特許庁ホームページ(平成29年1月現在)

## 2. 知的財産に関する現状

### (4) 地域団体商標の取得団体及び地理的表示保護制度の登録団体

- ・ 県内で地域団体商標を取得している団体は4団体である。
- ・ 地理的表示保護制度の登録団体はない。

#### ◆地域団体商標の取得団体(平成29年1月16日現在)

|   | 団体名            | 地域団体商標       | 住所                    |
|---|----------------|--------------|-----------------------|
| 1 | 岩手県南部鉄器協同組合連合会 | 南部鉄器         | 岩手県盛岡市繫字尾入野64の102     |
| 2 | 岩手江刺農業協同組合     | 江刺りんご        | 岩手県奥州市江刺区岩谷堂字反町362番地1 |
| 3 | 全国農業協同組合連合会    | いわて牛、いわて短角和牛 | 東京都千代田区大手町1丁目3番1号     |
| 4 | 田老町漁業協同組合      | 真崎わかめ        | 岩手県宮古市田老字荒谷2番地        |

出典:特許庁ホームページ(平成29年1月現在)

#### ◆地理的表示保護制度の登録団体(平成28年12月7日現在)

|  | 団体名  | 登録産品名称 | 住所 |
|--|------|--------|----|
|  | 該当なし |        |    |

出典:農林水産省ホームページ(平成28年12月現在)

## 2. 知的財産に関する現状

### (5) 国・地方公共団体・関係機関による表彰企業リスト

- 平成24年以後、知財功労賞を受賞した県内企業は1社である。知的財産権活用事例集2016に掲載された企業も1社である。

**知財功労賞  
表彰企業  
(平成24～28)**

| 企業名       | 表彰概要                           |
|-----------|--------------------------------|
| 田老町漁業協同組合 | 平成25年度 経済産業大臣表彰 産業財産権制度活用優良企業等 |

出典：特許庁ホームページ

**知的財産権  
活用事例集  
2016  
掲載企業**

| 企業名     | 業種    | 所在地              | 企業概要及び特徴                                                                                                                                  |
|---------|-------|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 有限会社中村家 | 食品・飲料 | 岩手県釜石市<br>鈴子町5-7 | 釜石の工場働く地元の客を中心に、地元食材を提供する飲食店である。ネーミングの広い権利化で、ブランドイメージの定着をねらう知財戦略を行っている。価値の高い商品ブランドイメージを護るため、類似商品をインターネットや催事場などを確認し、類似商品が出回っていないか目を光らせている。 |

出典：特許庁「知的財産権活用事例集2016」

## 2. 知的財産に関する現状

### (6) 産学連携等の実績

- 岩手大学は、全国318機関中、特許権実施等収入で69位となっている。

#### 大学等における産学連携の実施状況について(平成27年度)

| 機関名    | 国公私<br>種別 | 大学・<br>短大等<br>分類 | 特許出願<br>件数 | 特許権実施等<br>件数 | 特許権実施等<br>収入(金額:千円) | 特許保有<br>件数 | 実施許諾中<br>特許権数 | ランニング<br>ロイヤリティ収入<br>のあった特許権数 |
|--------|-----------|------------------|------------|--------------|---------------------|------------|---------------|-------------------------------|
| 岩手大学   | 国立        | 大学               | 30         | 52           | 3,038               | 204        | 47            | 8                             |
| 岩手県立大学 | 公立        | 大学               | 18         | 0            | 0                   | 3          | 0             | 0                             |
| 岩手医科大学 | 私立        | 大学               | 10         | 1            | 225                 | 10         | 0             | 1                             |

出典:文部科学省「平成27年度 大学等における産学連携等実施状況について」



## 2. 知的財産に関する現状

### (7) 県のアンケート調査結果

- 岩手県では、岩手県知的財産活用促進プランの策定にあたり、県内企業の知的財産に対する取組・課題を把握するため、平成22年6月にアンケート調査を実施し、137社から回答を得た。結果は以下の通り。

#### 1. 知的財産権の出願状況

県内企業における出願状況については、「実績があり、今後も出願する」との回答が35%と最も多い。「実績があり、今後は出願しない」とする企業において、戦略的方針に基づく企業はごく少数で、権利化できる技術・発明が少ないとする企業が多い。「実績なし、今後は出願する」と回答した企業が7%。そして、「実績なし、今後は出願しない（権利化できる技術・発明がない）」と、知的財産が自社に関係がないと感じている企業が28%であり、このような企業への意識啓発・掘り起こしが必要である。

#### 2. 社内の知的財産に関する体制及び経営戦略における位置づけ

社内に知的財産担当者を配置している企業は24%。担当業務は渉外系業務37%が最も多く、出願管理系業務24%、調査系業務14%と続いている。今後充実させたい業務としては「社内環境整備系業務」「知財戦略系業務」が多い。営業秘密を含め社内規程を整備していない企業は74%であった。

経営戦略における知的財産の位置づけを見ると、「戦略を有していない」又は「必要性を感じていない」企業が半分近くであり、知的財産権に対する意識が低い状況にある。

#### 3. 知的財産の創造や保護、活用にあたっての課題

創造にあたっての課題としては、「研究開発及び権利化するための人材・資金不足」を挙げた企業が35%と多い。

保護にあたっての課題としては、「権利取得すべきか否かの判断が困難」（22%）、「戦略的な権利化ができていない」（20%）など、いわゆる「目利き」及び「戦略的活用」の難しさが挙げられる。

流通（活用）にあたっての課題としては、「知的財産や技術の有用性・適正な価格の評価が困難」が最も多く、保護と同様に、自社技術の適正な評価に課題を感じている。

#### 4. 公的機関の利用状況

「知財に関するセミナーやフェア」「知的所有権センターのアドバイザー」「発明協会主催の無料相談会」は約4分の1が、「先行技術調査や審査請求料等の減免措置、早期審査制度」等の支援制度は、約半数が「知らない」と回答するなど、支援制度の周知が不足している。

### 3. 知的財産教育に力を入れている教育機関

#### (1) 知的財産教育に力を入れている教育機関

- 知的財産教育に力を入れている教育機関として、以下のような機関がある。

#### 知的財産教育に力を入れている大学等

| 大学名    | 部署      | 知的財産教育に関する取組概要等                                                                                                                                                   |
|--------|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 岩手大学   | 工学部・法学部 | 工学部の専門科目として、「知的財産概論」という講座がある。<br>人文社会科学部の法学・経済課程向けの科目として「知的財産法」という講座がある。内容としては、知的財産法の中でも特許法と著作権法を中心に取り扱い、これらの法令の基本的な理念や考え方について説明するとともにこれからの知的財産法の在り方を考えるというものである。 |
| 岩手県立大学 | 大学      | 「情報と法律」(選択科目)という講座の中で、特許法、実用新案法、意匠法、商標法、著作権法、そして不正競争防止法の6つの法律から構成されている知的財産法の全体像を理解することによって、情報と法律との関係を学習する。                                                        |

出典:各大学ホームページ

## 4. 支援機関

- 岩手県内の知的財産に関する主な支援機関には以下のようなものがある。

| # | 名称                  | 所在地                          | 連絡先                                | 支援概要                                                              |
|---|---------------------|------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 1 | 知財総合支援窓口            | (一社)岩手県発明協会内<br>盛岡市北飯岡2-4-25 | TEL019-634-0684<br>FAX019-636-0256 | 知的財産に関わる様々な専門家や支援機関と共同して、中小企業等の知財に関する課題解決を図るワンストップサービスを提供する。      |
| 2 | (一社)岩手県発明協会         | 盛岡市北飯岡2-4-25                 | TEL019-634-0684<br>FAX019-631-1010 | 発明の奨励、産業財産権制度の普及啓発、青少年等の創造性開発・育成のための各種サービスを提供する。                  |
| 3 | (公財)いわて産業振興センター     | 盛岡市北飯岡2-4-26                 | TEL019-631-3823<br>FAX019-631-3830 | 中小企業の経営相談、情報提供、人材育成のための研修、海外出願支援(助成)、専門家派遣、研究開発の支援等を行う。           |
| 4 | (公財)釜石・大槌地域産業育成センター | 釜石市平田3-75-1                  | TEL0193-26-7555<br>FAX0193-26-7557 | 中小企業者等が産業財産権の出願を検討する際に、先願の検索調査や出願手続き等の相談、指導を行う。また、産学官の連携・交流を促進する。 |
| 5 | 岩手県工業技術センター         | 盛岡市北飯岡2-4-26                 | TEL019-635-1115<br>FAX019-635-0311 | 技術面での支援を中心として、技術相談、企業訪問、依頼試験や依頼加工、人材育成等を行う。                       |
| 6 | 岩手県商工会連合会           | 盛岡市盛岡駅西通1-3-8                | TEL019-622-4165<br>FAX019-654-3363 | 経営・生産・商品・権利等の各種分野の専門家(エキスパート)を無料で派遣し、具体的・実践的な指導やアドバイスを行う。         |
| 7 | 岩手県中小企業団体中央会        | 盛岡市肴町4-5                     | TEL019-624-1363<br>FAX019-624-1266 | 窓口相談や個別専門指導により、組合員が抱える経営課題の解決を支援する。                               |
| 8 | 盛岡商工会議所             | 盛岡市清水町14-12                  | TEL019-624-5880<br>FAX019-654-1588 | 経営や技術面での課題を抱える企業に対して、窓口での相談や専門家の派遣を行う。                            |

## 4. 支援機関(MAP)

